

MJ進路通信

群馬県立前橋女子高等学校
進路指導部
令和4年7月5日(火) 第14号

先輩に聞く！「大学の時間割」を教えてください！

◎Aさん（東京農工大学 工学部生命工学科3年）

□大学2年後期

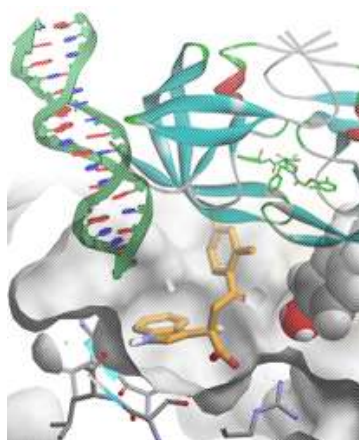
	月	火	水	木	金
1限	細胞工学	英語		統計学	蛋白質・核酸科学
2限	分析化学	細胞生物学	英語	有機化学	無機化学
3限	物理化学	海洋生物学	演習	実験	実験
4限	機器分析学	バイオセンシング		実験	実験
5限		生物工学		実験	実験
6限		(教職科目)			(教職科目)

この学期の必修科目は火・水の英語と演習、実験の授業で、他は選択必修です。私の学科はほかの学科や別学部と比べ、単位取得条件が厳しいので、たくさん取らないといけないのが大変なところです。そのため3年になってもまだまだ忙しいです。

自分の学科では物理、化学、生物の領域を超えて、「生命科学」に関する様々なことを学ぶことができます。そのため、授業で行われる分野の幅がとても広いです！毎日様々な分野の講義を聴いていると、頭の中の整理が大変ですが、自分が学びたいと思っていたことの最先端を学ぶことができるので、毎日とても充実していますし、自分が本当に興味のある分野を再認識することができます。応用分野になると、教授が実際に行っていることやそれに関する講義を聴くことができたり、専門の先生による講義を聴くことができるので、非常に面白いです。私の学科には医療分野への応用研究をされている先生が多数いらっしゃるのですが、先日は手術の疑似体験ができる授業があり、なかなかできない貴重な体験をすることができました！実際に医師をされていた教授もいらっしゃるので、非常に詳細にたくさんのことを学ぶことが出来ます。

私の大学ではコロナ以前の様式に戻りつつあります。授業は基本的に対面で行われていま

すし、部活動も制限なく行われるようになりました。
一人暮らしは時間などの制限を気にせず、生活できるので非常に楽です！（翌日、起床できなくても自己責任ですが…笑）こんな風に、今はとても自由で充実した生活を送っています。大学は社会に出る前に、本当に自由な時間が取れるラストチャンスなので、自分のやりたいことを存分にやるべきであるなと痛感し、今は旅行計画を友人とたてたり、ライブに行ったり、今しかできないことにもチャレンジしています。



◎Bさん（慶應義塾大学 法学部政治学科3年）

□大学3年春学期

	月	火	水	木	金
1限	財政論 I		経済原論	日本政治運動史	
2限	現代政治思想		経済原論		ヨーロッパ政治史
3限			人間の理想像に関する哲学的探究	朝鮮半島と東アジア国際政治	ドイツ語
4限			細谷雄一研究会	近代ドイツ研究	倫理学洋書講読
5限			細谷雄一研究会	国際経済論	文章と表現
6限				アジアと日本の経済関係	
7限				ロシア語	



慶應の法学部政治学科は必修がほとんどありません。日本政治系列、政治思想系列、比較政治系列などさまざまな系統で分けられていて、系列科目の選択肢の中から興味のある必修科目を選べる選択必修制度。

春学期で卒業単位をほぼ取り切れるためにたくさん授業や選択必修をとっていますが普通にとればもっと少ないです（これの2/3くらい）。必修が少ないおかげで学部横断的に履

修が組めるので文学部の授業をたくさんとっています。

□面白い授業

- 水45「細谷雄一研究会」：研究会で、安全保障・西洋外交史について学んでいる。日本を代表する教授から様々な知見を得られたり、興味を同じくする仲間と国際政治に関する古典を読んで議論できる良い機会になっている。同期が25人ほどおり、様々な個性とバックグラウンドを持つ仲間とプライベートでも仲良くなれます。ゼミには入ることをお勧めします！
- 木3「朝鮮半島と東アジア国際政治」：外部講師を招いて日韓の政治的関係性について学ぶ。大使や外交官、学者など政治を実務としている方の視点から東アジアを見ることができる。
- 金5「文章と表現」：文学部の授業。小説や詩、戯曲を書く授業。芥川賞など賞を取っている慶應OBの作家さんの講演を聞いたり、彼らに自分の作品を添削してもらえる。

□前女生に伝えたいこと

大学生活でいろいろ挑戦する機会を持つことをお勧めします。就活のためにやりたくないガクチカ（「大学で学んだ力」のこと）を作ろうとするは間違ってますが、24年卒(自分の代)あたりから、サマーインターンが本選考に直結しつつあって、3年春の時点でいわゆるガクチカがないと大変かもしれません。私はいろんなことを楽しく頑張っ

てこれたので熱く語れるエピソードは持っていますが、コロナ禍で何もできないまま、就活の時のエントリーシートにガクチカを書かなければならない人もいます。



先輩に聞く！**苦手科目をどう克服したか**

◎Cさん（金沢大学 文系一括1年）

○数学

定期考査で10点以下をとるくらい苦手でした。ずっと数学から逃げ続け、克服にとりかかったのは高3夏休み前でした。そこから共通テストまで「ハイプライム」をやり込みました。A問題はウォーミングアップとしてやりました。B問題&例題は解法を頭に叩き込み、模試で応用して問題が解けるようにすることを意識してやりました。少しでも疑問が出たら先生に質問しました。質問する先生を決めるといいと思います。私は数学で不安なことがあれば何かと星野先生（星野先生が事務所NGで名前を出せないようなら伏字にしてください笑）に相談していました。高3秋の記述模試では大問1つをほぼ完答できたので効果があったと思います。もっと早いうちから始めればよかったなと今でも思います。あとは理系の友達にもたくさん質問しました。友だちも勉強になるし、わたしは遠慮なく聞けるのでWin-Winでした。お互いに受験勉強頑張ろうという雰囲気にもなれたのでオススメです。



○英単語

科目ではないのですが、「英単語」が苦手でした。正確には英単語を嫌がってサボっていました。3年になった直後は「聞いたことあるけど意味は分からない…文脈でなんとか判断できるかな…？」という単語が大量にありました。英単語を克服するために、「EG」を本気でやりました。脳にひたすら入力しました。暇だと思ったら「EG」を開くようにしました。単語の発音を意識し、例文も声に出して読んでいました。最初は苦痛でしかありませんでしたが、次第に英単語を覚えることに快感を覚えはじめました(意味が分かる単語がふえる喜びに震えました笑)。夏休みまでに「EG」を2周しました。1周目はザッと流し込み、2周目は「ぬけ」を埋めていきました。ぬけていた単語だけを小さいノートに書き出してオリジナル単語帳を作っていました。苦手・抜け単語を覚えた量がページ数として目に見えて、達成感がありました。夏休み前に「EG」を仕上げたことで、夏休み中は共通テスト用の演習がたくさんできました。単語が頭に入ると英文読解が飛躍的に向上するので、早めに仕上げると有利です。。友達と英単語や古典単語を勉強の合間の休憩や下校中に出題し合うこともしていました。対抗心で勉強がはかどりました。

○世界史

世界史は3年のはじめは模試で50点台をとっていました。授業プリントを使い、歴史の流れと繋がりを意識して(同年代に他地域では何があったか)勉強すること、地図や美術作品は資料集で必ずチェックすること、「家で再現できるくらい集中」して授業に参加することを意識することで、だんだん点がとれるようになりました。また、友だちと問題を出しあったり、論述問題対策として世界史を説明しあったりしました。これらの成果がでて、最後の共通テストでは100点がとれました。

○前女生に伝えたいこと

最後にやる気に関する話をします。私はずっと勉強にやる気がもてませんでした。そんなある時、部活の仲間やクラスの友だち、廊下にいる前女生がみんな一生懸命勉強しているのにハッと気がつきました。人間は周りが頑張っていると頑張れます。逆に授業中に寝

る人や課題をきちんとしてこない人がいると、全体の士気が下がります。お互いに悪いところはきちんと指摘し、受験に向けてクラスの雰囲気を整えることも大事ではないかなと思います。

◎Dさん（お茶の水女子大学 文教育学部人文科学科地理学コース3年）

①苦手科目の状態

3年の初めまで、古典・漢文は基礎すらあやふやな状態だった。理由は明確で、勉強不足だった。「センター試験でしか使わない」「センター試験は選択問題だから、勘で解ける」と高を括っていたのである。一方で、読書が好きだったからか、現代文は得意だった。そのため、古典・漢文の結果が酷くても、合計はそれほど悪くないというのが常だった。危機感は無かったと思うが、今振り返ると、現代文の得点を理由に古典・漢文の勉強から逃げていたとも言える。

②工夫と対策

1年から定期試験や模試の復習はしていたが、そこで私が身につけたのは文法や時代背景の知識ではなく、「大体こんな感じのストーリー展開をするだろう」という勘だった。つまり、2年と数ヶ月、私は運任せで解答欄を埋めていた。しかし、古典・漢文も試験の一部であり、得点できなければ、当然センター利用入試、国立の一次試験に大きな影響がある。3年生になって初めて、危機感と焦りを強く感じるようになった。やっと自分の状況を理解した私は、1年生で習う文法の基礎を勉強し直した。3年の夏休みにやることではないが、教科書を読んで、ノートにまとめ、頭の中で整理した。また、私はZ会の通信教育を使っていたので、古典・漢文を復習できる教材を購入し、解いた。非常に初歩的だが、これだけでも文章の解像度は上がった。

一方、定期試験と多くの模試のおかげで、脳内には、小さいながらも作品のストックができていた。これにより、夏休みの終わり頃、ストックからストーリー展開を予想し、その予想を頭の隅に置きながら読み進める、というような解き方に落ち着いた。この時点で、文法問題やストーリーの大意を問うような問題は、安定して得点できるようになった。しかし、古典については、語彙が少なすぎるため、細かなことを聞かれると正答率は低いままだった。そこで、単語の暗記に移行した。隙間時間を使うほか、夜寝る前に覚え、朝起きた時や登校中に思い出すようにしていた。私の場合、ページ数を決めると早く終えたい気持ちが勝って読み流してしまうため、特に量は決めなかった。また、朝起きて顔を洗いながら、また歩きながら思い出すなど、何かしながらの方が私は覚えやすかった。



③結果

夏休み以降は二次試験で使う数学、英語に力を入れていたため、単語の暗記を緩く続けるだけで精一杯だったが、秋あたりにはセンター試験形式の問題で8割は切らなくなった。今の共通テストにどれくらい通用するのか分からないが、基本的なことなので既にやっている人の方が多いと思う。逆に私のような人がいたら、古典・漢文は基礎ができていれば失敗しにくい科目なので、ぜひ得点源にしてほしい。私のように3年生になってからでも遅くはない（が、かなり焦るし、ストレスを感じるので、もっと早くからやった方が絶対に良い）。特に理系の場合、試験が近づくと、文系科目にはあまり時間を割けない人が多かったと記憶している。そんな時に文系科目の得点が安定していたら、かなり気持ちが楽になると思う。